

北アルプスの気象と山岳環境

大町エネルギー博物館

『北アルプス周辺の紅葉のみごろ』に次ぐ第二段

『北アルプスと雪』

制作・監修 理学博士 杉本利英



今後、地球温暖化が進行した場合、もともと気温が低い北海道の内陸部や北アルプス周辺をのぞき、積雪は全国的に減少し、積雪期間も短くなります。このため融雪が早まり、春(3月～5月)の日本海側の河川流量は30%以上減少し、逆に冬(1月～2月)の河川流量は80%以上も増加すると試算されています。将来、河川流量に合わせて田植えを2月にする時代がくるかもしれません。
展示解説文から

豊富なデータからまとめられたパネル展示です。

講演会も10月14日(日)に予定！！

